



## 善意で広がる地域の輪

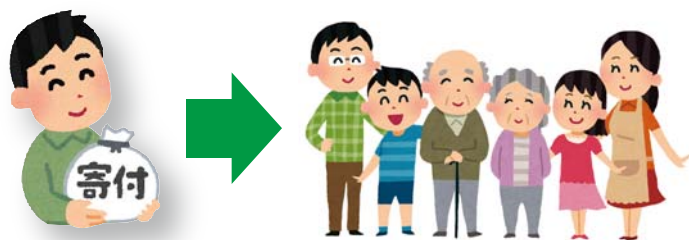
### 善意銀行の紹介

善意銀行は、「寄付をしたい」「何かに役立てて欲しい」そのようなお気持ちから寄せられた金品をお預かりし、市内のボランティア団体や市民活動団体が実施する事業に配分しています。

平成30年度は32件、648,488円の寄付金と27件（お菓子、お米、洗剤、タオル等）の寄託品が寄せられ、寄託品は福祉団体を中心に配分し、寄付金は3団体に配分されました。

今回は、寄付金が配分された活動の一部をご紹介します。

※令和2年度善意銀行配分団体の申請案内は第2面をご覧ください。



### どんなことに使われているの？

#### 地域交流の推進のために・・・

【令和元年度配分団体】

#### 「二十会」(大住台地域) 活動紹介

活動を始める前は、地域の親睦関係がほとんどなく、会を立ち上げて地域住民の交流が広がったことをきっかけに、今では麻雀・スポーツ吹き矢・パークゴルフなど10以上のサークルが活動するようになりました。

地域の交流イベントである「芋煮会」には、小さいお子さまから年配の方まで、幅広い世代が集まり地域の輪が広がっていました。



参加者の声

『会に参加したことで、知り合いが増えた。』  
『娘に誘われて参加しました。孫と一緒に参加できるイベントが地域であるのは嬉しい！』  
『引っ越して3年目になるが、隣人に誘われて参加したのがきっかけで、知人も増えた。』  
『地域の方と顔見知りになっておくと、災害の際にも自然と地域で支えあいができるような気がする。身近な地域で助け合いができるとうい。』

は ち ち かい 大住台地域住民の交流と親睦を深めるために、年2回のお花見、芋煮会の費用として配分  
**二十会** 《配分額 63,000円》

#### 向上高等学校

東日本大震災被災地の被災者支援、現地高校との交流等の活動費として配分《配分額 100,000円》

#### さくら会

岡崎地域の高齢者の交流、健康維持のための事業を実施するための活動費として配分《配分額 40,000円》

#### 被災地を支援するために

災害時には、多くのボランティアの方々が被災地支援のために活動されています。今年度、特定非常災害に指定された台風19号の被災地でボランティア活動を行った個人や団体に、交通費等の一部およびボランティア活動保険の保険料相当額を、善意銀行に寄せられた寄付金を活用し、助成しました。

